

# サイバー電子錠



ICカードの認証は  
ブザー音と  
照光ランプで表示

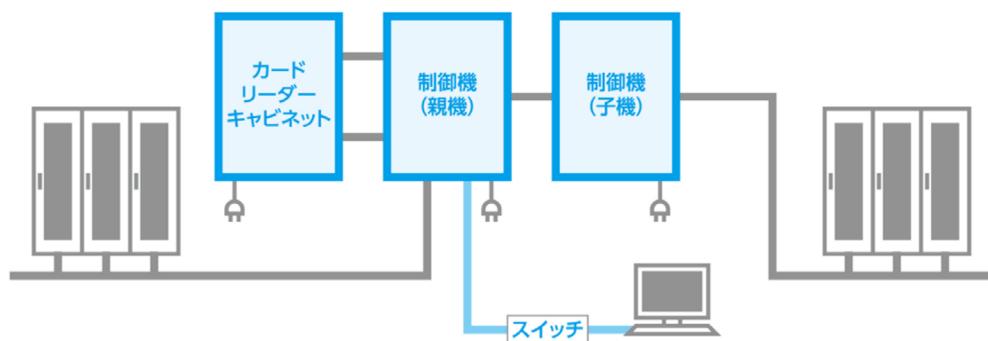


簡単施工で、ICカード認証の  
「高セキュリティラック」にレベルアップ！  
専用ソフトで、顧客ニーズに合わせた「システム自動化」の  
段階導入が可能！

- セキュリティで話題の「ICカードによるラック開錠システム」を、ローコスト・短納期で構築できます。
- 「システム自動化」によるデータセンター運用は、顧客サービスの向上と人件費の削減を両立させます。
- 重厚でスタイリッシュなハンドルデザインで、既設ラックの「使い勝手」と「安心感」を損ないません。
- 専用設計のケーブル類は、設置工事での作業に関する事故や負担を軽減します。



## 構成図



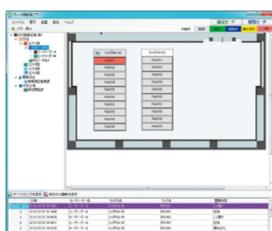
ワンアクションの  
後付け電子錠

ラック錠監視ソフト [RP47-SSS02] ラックのリアルな状態が表示可能な専用ソフトで、状況監視を効率的にサポート

### 階層表示が可能な管理画面



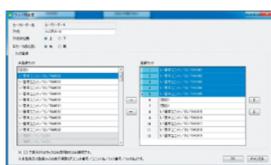
### 安心できる緊急表示



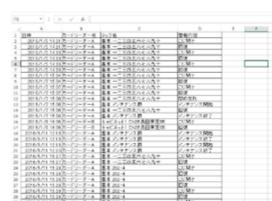
### 遠隔開錠操作



### ラック列のレイアウト構築



### 確実な利用ログ収集



※各画面を拡大表示。画面毎にテキストも表示させる。

ラックの設置数や運用方法に合わせて、階層表示が可能です。

運用中の変移や異常が一目で判ります。現在発生している警報ログのダブルクリックで対象エリアを即表示します。(緊急時に遠隔開錠操作する時もログイン画面のIDとパスワードを入力しないと開錠できません。)

ラック名のボタンを押して、ログインのIDとパスワードを入力することで、遠隔での開錠操作ができログが残せません。(緊急時に遠隔開錠操作する時もログイン画面のIDとパスワードを入力しないと開錠できません。)

ラックのレイアウトを忠実に再現することで管理担当者と現場担当者の連携し易い作業環境が実現。「固定⇄移動モード」ボタンの切替でラックレイアウト図の容易な移動調節が可能です。

ログはCSV形式で専用フォルダーに分けられます。開閉ログは「開錠」「開放」「施錠」「オートロック」を月別とカードリーダー別で、ラック異常状態の「こじ開け」「閉め忘れ」ログは月別で収集できます。ネットワークエラーが発生しても復旧後に制御機から新たにログ収集を再試行するのでログ消失の心配がありません。